

リーディングDXスクール事業【実践事例】

須坂市立東中学校（長野県）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力を意識した各教科共通の指導案と振り返りシートなど

指導案

授業構想カード 10月29日（火）5校時 3年1組3年2組 合計44名 教科名（保健体育科）

授業者：

単元名「体づくり運動」

内容・指導事項 A 体づくり運動 イ 実生活に活かす運動の計画

1 評価規準

知識・運動	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動を継続する意義、運動の原則などについて理解している。	自己や仲間課題を発見し、合理的な解決に向けて適切な考え方をもち、工夫すること、自己や仲間と協力し、健康・安全を確保したりしている。	主体的に学習に取り組む態度

R6 研究テーマ「目的意識をもって、粘り強く取り組む生徒の育成」との関連：教科で期待する生徒の姿

保健体育科では、子どもたちが今ある力で運動に限りなく挑戦し、その達成に向けて他者と協力し合いながら挑戦し、達成感を感じ、その達成感を感じていく姿を期待し授業づくりを進めてきた。今回は、自身の運動の振り返りを通して、自分の運動目標に合った運動の計画・実践を何度も繰り返す、主体的・客観的視点から目標に合った運動になっているのかを検討していく姿を期待する。

2 指導と評価の計画 計10時間

学習過程	学習活動 単元の学習問題（丸付き数字は授業時数）	学習評価 つまりどこで 振り返りに用いる 評価
① 体力テストの結果から自分の体力について知り、現在の自分の運動の振り返りを通して、これから生活の中でどのように運動と関わっていくかを考える。	自分の目的に合わせて、現在の生活に運動をどう取り入れていけばよいか。	学習の計画 スプレッドシート
② 運動を行うための体力の向上、健康に生活するための体力の向上 ③ 自身の健康に合わせた目標を設定し、単元の学習計画を立てる。 ・学習の手引きで単元で学習する活動を確認し、計画を立てる。	運動の計画 スプレッドシート	学習の計画 スプレッドシート
③～⑤ 活動1 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則についてフォームで確認する。（チェックタイム1） 活動2 ・目標に合わせて資料を活用し、1週間の運動のスケジュールを行い、バランスの取れた運動の計画を立てる。 活動3 ・運動の実践し、目標に合った運動になっているか確かめる。 活動4 ・作成した運動の計画と目標が合致しているか、検討する（チェックタイム2）	運動の計画 スプレッドシート	運動の計画 スプレッドシート
特設の課題に挑戦する ・運動、食事、睡眠、休養を意図して1週間の生活の計画を立て、実践する。	特設課題用シート	特設課題用シート

3 単元内自由進度を行う上での教師の手立て

学習の過程（情報活用能力）	教師の支援	ICT
課題の設定	・生徒にわたって運動を豊かに実践していくために、現在の生活に運動をどう取り入れていけばよいかを提示し、単元の学習問題を設定する。 ・体力テストの結果から実態を把握したり、今後の運動への関わりや、目標に合わせて運動の計画を立てる。 ・学習の手引きをクラスルームに提示し、生徒がスプレッドシートに単元の計画表を作成できるようにする。 ・健康の保持と、運動の向上を促すための運動の計画を立て取り組む（健康に生活するための体力の向上を促す運動、運動を行うための体力の向上を促す運動） ②いつ、どこで運動するのか ③どのような運動を選ぶのか ④運動強度、時間、回数	ICT
情報の収集	体育実技の習字や運動に関する資料、保健の教科書の体力に関するページなどを提示し、自身の健康や目標に合わせた運動計画を立てられるようにする。また、インターネットでも適宜必要なことを調べようことを促す。	PC (for School)
整理・分析	・健康に生活するための体力向上コース、運動を行うための体力向上コースの例をスライドや ・用紙、自分の健康や目標に合わせて選択、変更できるようにしておく。 ・スライド共に、友達の意見を参考にしながら自分の考えを深められるよう他者参照できるようにしておく。	ICT
まとめ・表現	・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則についてフォームで確認するチェックタイムを設ける。 ・毎時限の振り返りを行うためのスプレッドシートを用意する。 ・個々の健康や目標に合った計画となっているのかを検討するチェックタイムを設ける。	ICT

導入場面

授業構想カード 10月29日（火）5校時 3年1組3年2組 合計44名 教科名（保健体育科）

授業者：

単元名「体づくり運動」

内容・指導事項 A 体づくり運動 イ 実生活に活かす運動の計画

1 評価規準

知識・運動	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動を継続する意義、運動の原則などについて理解している。	自己や仲間課題を発見し、合理的な解決に向けて適切な考え方をもち、工夫すること、自己や仲間と協力し、健康・安全を確保したりしている。	主体的に学習に取り組む態度

R6 研究テーマ「目的意識をもって、粘り強く取り組む生徒の育成」との関連：教科で期待する生徒の姿

保健体育科では、子どもたちが今ある力で運動に限りなく挑戦し、その達成に向けて他者と協力し合いながら挑戦し、達成感を感じ、その達成感を感じていく姿を期待し授業づくりを進めてきた。今回は、自身の運動の振り返りを通して、自分の運動目標に合った運動の計画・実践を何度も繰り返す、主体的・客観的視点から目標に合った運動になっているのかを検討していく姿を期待する。

2 指導と評価の計画 計10時間

学習過程	学習活動 単元の学習問題（丸付き数字は授業時数）	学習評価 つまりどこで 振り返りに用いる 評価
① 体力テストの結果から自分の体力について知り、現在の自分の運動の振り返りを通して、これから生活の中でどのように運動と関わっていくかを考える。	自分の目的に合わせて、現在の生活に運動をどう取り入れていけばよいか。	学習の計画 スプレッドシート
② 運動を行うための体力の向上、健康に生活するための体力の向上 ③ 自身の健康に合わせた目標を設定し、単元の学習計画を立てる。 ・学習の手引きで単元で学習する活動を確認し、計画を立てる。	運動の計画 スプレッドシート	学習の計画 スプレッドシート
③～⑤ 活動1 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則についてフォームで確認する。（チェックタイム1） 活動2 ・目標に合わせて資料を活用し、1週間の運動のスケジュールを行い、バランスの取れた運動の計画を立てる。 活動3 ・運動の実践し、目標に合った運動になっているか確かめる。 活動4 ・作成した運動の計画と目標が合致しているか、検討する（チェックタイム2）	運動の計画 スプレッドシート	運動の計画 スプレッドシート
特設の課題に挑戦する ・運動、食事、睡眠、休養を意図して1週間の生活の計画を立て、実践する。	特設課題用シート	特設課題用シート

3 単元内自由進度を行う上での教師の手立て

学習の過程（情報活用能力）	教師の支援	ICT
課題の設定	・生徒にわたって運動を豊かに実践していくために、現在の生活に運動をどう取り入れていけばよいかを提示し、単元の学習問題を設定する。 ・体力テストの結果から実態を把握したり、今後の運動への関わりや、目標に合わせて運動の計画を立てる。 ・学習の手引きをクラスルームに提示し、生徒がスプレッドシートに単元の計画表を作成できるようにする。 ・健康の保持と、運動の向上を促すための運動の計画を立て取り組む（健康に生活するための体力の向上を促す運動、運動を行うための体力の向上を促す運動） ②いつ、どこで運動するのか ③どのような運動を選ぶのか ④運動強度、時間、回数	ICT
情報の収集	体育実技の習字や運動に関する資料、保健の教科書の体力に関するページなどを提示し、自身の健康や目標に合わせた運動計画を立てられるようにする。また、インターネットでも適宜必要なことを調べようことを促す。	PC (for School)
整理・分析	・健康に生活するための体力向上コース、運動を行うための体力向上コースの例をスライドや ・用紙、自分の健康や目標に合わせて選択、変更できるようにしておく。 ・スライド共に、友達の意見を参考にしながら自分の考えを深められるよう他者参照できるようにしておく。	ICT
まとめ・表現	・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則についてフォームで確認するチェックタイムを設ける。 ・毎時限の振り返りを行うためのスプレッドシートを用意する。 ・個々の健康や目標に合った計画となっているのかを検討するチェックタイムを設ける。	ICT

情報活用能力

①課題の設定：単元の学習問題・各学習課題を認識する。
②情報の収集：教科書を読んだり、動画資料等を見たりして情報を獲得する。
③整理・分析：得た情報を学習シート（スライド）に整理したり、分析したりする。
④まとめ・表現：学習問題や学習課題に対する自分の考えをまとめ、表現する。

指導案（授業構想カード）を情報活用能力ベースとし、どの場面でどの情報活用のプロセスが必要となってくるかを明らかにする。

単元の導入場面で、生徒に本単元における学習のプロセスを提示することで、単元を通して常に情報活用を意識しながら学習できるようにする。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

須坂市立東中学校（長野県）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力を意識した各教科共通の指導案と振り返りシートなど

振り返りシート

単元名							
単元の学習課題							
○チェックタイム							
チェック①	チェック②	チェック③	チェック④				
○情報活用能力（学習の過程）							
課題の設定 情報の収集 整理・分析 まとめ・表現							
時間	月・日	計画（予定）	情報活用	実際	分かったこと	振り返り の振り返り の振り返り	単元の 学習課題 への理解度
1							%
2							%
3							%
4							%

計画（予定）	情報活用	実際	分かったこと	振り返り の振り返り の振り返り	単元の 学習課題 への理解度
学習問題①	標準	情報活用①	情報の収集では教科書の重要なところを線引いて、教科書から情報を集めたり、チェックタイムで車の値段などをグループをつかって調べた。整理分析ではわかったことをcanvaにまとめた。チェックタイムの自分の考えはしっかりかけたので、次回は友達の見解を参考にしてまた考えていきたい。	消費者はお金を払って、生産者から形のある財、形のないサービスをもらっているとか分かった。生産と消費を通じて、暮らしを便利で豊かにする仕組みを経済という分かった。また、収入から消費支出と非消費支出を引いた残りを貯蓄といい、財産の形で残されるとわかった。	見直し ② 諦めない ② 興味・関心 ②
チェック①	コース	情報の収集			
情報の収集	整理・分析				
整理・分析	情報活用④				
チェック①	コース	情報活用①	情報の収集では教科書の重要なところを線引いて、教科書から情報を集めたり、チェックタイムの友達の見解を聞いたりした。整理分析ではわかったことをcanvaにまとめた。また、まとめ表現でチェックタイムを先生に見せた。少し遅れ気味なので次回はチェックタイム②に入れるようにする。	希少性とは求める量に対して財やサービスの量が不足した状態を希少性があるという。例えば、ダイヤモンドは多く人が欲しがっているのに対して量が少ないため、希少性が高いと言える。でも、人や状況によって希少性は変わるから、チェックタイムで出てきた人はフィギュアの希少性が高かったのだから分かった。人間の欲求には限りがないけど、財には限りがあるので、賢い消費者になるためには買いたいものを片端から買うのではなく、ほんとうに必要なものを選択することも必要だと思った。	見直し ② 諦めない ② 興味・関心 ②
学習問題②	標準	情報の収集			
情報の収集	整理・分析				
整理・分析	まとめ・...				

単元名							
単元の学習課題							
○チェックタイム							
チェック①	チェック②	チェック③	チェック④				
○情報活用能力（学習の過程）							
課題の設定 情報の収集 整理・分析 まとめ・表現							
時間	月・日	計画（予定）	情報活用	実際	分かったこと	振り返り の振り返り の振り返り	単元の 学習課題 への理解度
1		学習問題①	標準	情報の収集			%
2		学習問題②	標準	情報の収集			%
3		学習問題③	標準	情報の収集			%
4		学習問題④	標準	情報の収集			%

毎時間の振り返りの場面で、本時に分かったことだけでなく、どのように学習を進めたのか（情報活用）を記入する欄を設けている。生徒は、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の中から、特に意識したものを選択し、どのように活用ができたかを記述する。

